

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

R 6 年 6 月 20 日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県大飯郡おおい町本郷117-21-1

氏名 株式会社 時岡組  
代表取締役社長 時岡 健介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-77-0008

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 時岡組
事業場の所在地	福井県大飯郡おおい町本郷117-21-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 (総合建設業)
②事業の規模	令和5度 元請完成工事高 785,000千円
③従業員数	25人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-①の通り

(日本産業規格 A列4番)

廃棄物分類	一連の処理の工程	委託内容
がれき類	処理業者（再生）へ委託	再生路盤材
木くず	処理業者（再生）へ委託	再生チップ・再生ボード 燃料チップ
紙くず	処理業者（再生）へ委託	古紙原料・固形燃料
	処理業者（焼却）へ委託	管理型埋立（最終処分）
金属くず	処理業者（再生）へ委託	原料として再資源化
建設混合廃棄物	処理業者（選別）へ委託	選別後、各廃棄物分類ごとに委託。 残渣物は、管理型埋立（最終処分）

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の処理すべては「建設廃棄物処理委託契約書」に基づき、建設系廃棄物マニフェストを通じて処分会社に委託する。

- ①各現場 → ②自社運搬 → ③処理業者  
 ①と③で処理委託契約  
 ①が③にマニフェスト伝票を提出  
 ③からマニフェスト伝票を受取、適正な処理が完了したか確認する。
- ①各現場 → ②収集運搬業者 → ③処理業者  
 ①と②で収集運搬委託契約 ①と③で処理委託契約  
 ①が②にマニフェスト伝票を提出  
 ②及び③からマニフェスト伝票を受取、適正な処理が完了したか確認する。

※1 現場担当者が、現場単位でマニフェスト伝票を集計して土木部へ提出する。

※2 土木部で統括管理を行う。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・金属くず・木くず等それぞれの集積場所を設置し、分別収集を行い、他の廃棄物が混入しない様保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状を維持し、今後も引き続き分別収集を行う。

## 産業廃棄物の搬出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和5年度）実績】</b>						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	金属くず	廃プラ	建設混合廃棄物
	搬出量（t）	809.120	45.750	15.850	14.590	158.170	56.420
	<p>（これまでに実施した取組）          公共工事が主体である為、工事契約書等に基づき指定処分する。          適正処理方法の確認は、マニフェストにより行い、各工事ごとに枚数及び搬出量を管理している。</p>						
①計画	<b>【目標】</b>						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	金属くず	廃プラ	建設混合廃棄物
	搬出量（t）	800.0	50.0	1.0	2.0	10.0	20.0
	<p>（今後実施する予定の取組）          がれき類（コンクリート・アスファルト等）の分別は、収集の際土砂等の不純物の混入を減らすように心掛ける。          その他廃棄物については、作業工法の検討を行い減量化を実施する。</p>						

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—                      t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—                      t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—                      t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—                      t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—                      t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—                      t
(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—                      t	—                      t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—                      t	—                      t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和5年度）実績】</b>						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	金属くず	廃プラ	建設混合廃棄物
	全処理委託量（t）	809.120	45.750	15.850	14.590	158.170	56.420
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	809.120	45.750	15.850	14.590	158.170	56.420
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
(これまで実施した取組) 再生利用業者で処理を委託し、委託基準やマニフェスト交付などの法令を遵守した上で、処理を委託する。							
①計画	<b>【目標】</b>						
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	紙くず	金属くず	廃プラ	建設混合廃棄物
	全処理委託量（t）	800.0	50.0	1.0	2.0	10.0	20.0
	優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	再生利用業者への処理委託量	800.0	50.0	1.0	2.0	10.0	20.0
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組) 優良な処理業者を選任し、処理の委託をする。							



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。